

白雪の山々

神戸から東京までは殆どが新幹線を利用した。たまに飛行機も使ったがジョイントを考えると、どうしても新幹線となってしまう。近年では娘二人が東京の大学に進学したこともあり、引っ越しも兼ねてマイカーを使って何回か往復した。特に土日 1,000 円の高速料金は 2 回ほど恩恵に与ったことも。

名神・東名の高速道路のルートもあるが、私は中央自動車道のほうが好きだ。その理由は車が空いていることもあるが、白雪の美しい景色山並みを見ながら走れるからだ。私の生活範囲の中では一年中を通して、雪を見ることは残念ながら殆どないのだ。



夏場を除いて神戸からの上り線を走ると、まず滋賀県から関ヶ原付近にかけて、堂々とした姿でたっぷりと雪を被った伊吹山。そして岐阜県恵那市から長野県伊那市にかけて北側には中央アルプスが間近に迫り、南側には南アルプスが遠くで白銀に輝いている。その間を縫うように車は走っていく。気分は最高だ！

そして諏訪湖を過ぎると間もなく左側に、八ヶ岳連峰が天に突き刺すように聳えている。右側には間近に迫った南アルプスが荒々しく連なる。圧巻は正面に現れる日本一の富士山がぐんぐんと迫って来るのだ。これまで見てきた山々とは違って富士山の美しいコニーデは、雄大で山の王様の風格を持っているように見えた。

山頂を覆う白雪はいずれも純白の輝きを放っていた。私はこの道が好きだ。撮影 2010 年春

